

「日常生活の指導」学習指導案（略案）

令和2年12月18日金曜日2校時 場所：小学部2・4年教室

小学部 2・4年グループ 男子1人 女子2人 計3人

指導者 CT：池田健児 ST：多良間浩子 金城舞子

【育てたい資質・能力】

- ・教師や友だちと一緒に安心して活動を楽しむことができる
- ・他者や物との関わりの中で、様々な感覚を味わいながらボディ・イメージを高めることができる

【育っている資質・能力】

- ・身近な教師と一緒に活動に取り組むことができる。
- ・身近な教師との関わりを通して粗大運動（足を動かす、体の向きを変える等）ができたり、関わりを受け入れたりすることができる。

1. 単元名「一緒に感じてみよう」

2. 単元の観点別目標（評価規準）

- (1) 身体各部の動かし方やゆるめ方を体感することができる。【知識・技能】
- (2) 他者からの働きかけに対して反応したり、自己の思いや願いを表出したりすることができる。
【思考力・判断力・表現力】
- (3) 教師や友だちとからの関わりを受け入れようとするすることができる。
【主体的に学習に取り組む態度】

3. 学習計画と評価計画

単元	時／週	主な学習活動	評価の観点		
			知・技	思・判・表	主体的
人との関わりを楽しもう。	5	ふれあい体操	○	○	◎
		粗大運動	○	○	◎
		感触遊び	○	○	◎
		歌遊び		○	◎
		楽器遊び		○	◎
		感覚運動遊び		○	◎

4. 単元の個別目標

観点 氏名	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
A (2年)	教師の支援で身体各部の動かし方やゆるめ方を体感することができる。	働きかけに対して快・不快を表現することができる。	やりたい活動を相手に要求することができる。
B (2年)	教師の支援で身体各部の動かし方やゆるめ方を体感することができる。	働きかけに対して反応をすることができる。	リラックスした状態で教師や友達と関わりを持つことができる。
C (4年)	教師の支援で身体各部の動かし方やゆるめ方を体感することができる。	働きかけに対して反応することができる。	緊張せず、穏やかな表情で教師や友達と関わりを持つことができる。

5. 本時の学習

(1) 本時の目標

- ①身体各部の動かし方やゆるめ方を体感することができる。【知・技】
- ②働きかけに対して表情や発声で反応することができる。【思・判・表】
- ③リラックスして教師との関わりを持つことができる。【主】

(2) 本時の展開

	学習活動	評価の観点	教師の指導及び支援及び配慮事項	備考
導入 5分	①始めのあいさつ	【思】	・ 本時の流れは絵や写真を用いて視覚的に理解できるように工夫する。	・ ホワイトボード
	②本時の学習の流れを確認する。	【思】		
展開 〇〇分	③ふれあい体操	【知】	・ 児童の反応に合わせて力の強弱やペースを調整する。 ・ 児童の身体の動きや表情の変化などに気を付ける。 ・ あいさつや呼名のときは児童の顔の前ではっきりとした声で行う。	・ CD ・ ラジカセ
	④朝の会 1. 呼名	【思】		
	2. 今日は何日? 3. 今日の流れ 4. おたのしみ	【主】		
まとめ 〇分	⑤ふりかえり	【思】	・ 児童の身体の動きや身振り、表情の変化などから気持ちをくみ取っていく。	
	⑥終わりのあいさつ	【思】		